

スーパーコンピュータ利用説明会（初心者向け）

利用申請と利用者支援

2026年4月28日

大阪大学 D3センター
速水 智教

本セクションの内容

- D3センターのサービスと利用できる設備
- 利用申請
- 利用料金（利用負担金）
- 利用者支援
- 研究成果のアウトリーチ活動
- Q&A
- まとめ

D3センターのサービス

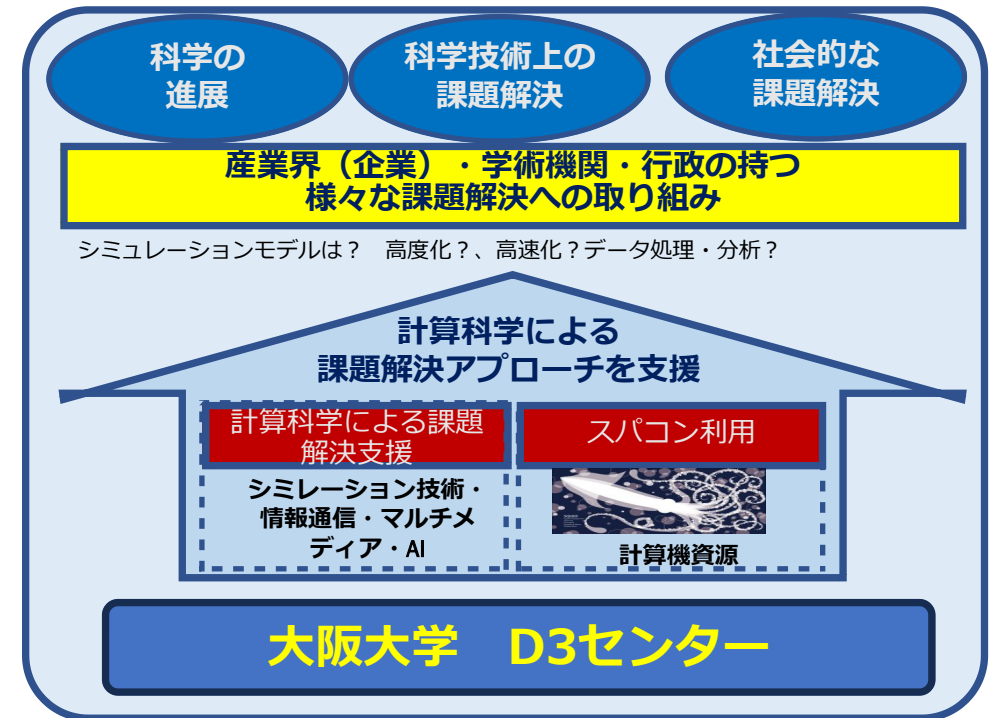
学術研究基盤としてサービスを提供

大学の使命

- 研究発展への貢献
- 教育・人材育成への貢献
- 社会貢献

計算科学による課題解決アプローチを支援

- ① 低コストPF提供、利用制度整備
- ② リテラシー習得支援、共創（コミュニティ形成等）支援
- ③ 課題適用支援



産学連携支援

- 2009年～「スパコン利用」を民間企業へ開放。
- 民間企業のHPC・HPDAの利用促進を支援する「産業利用」制度を設置。

D3センターのサービス

■ スパコン利用(&利用者支援・相談)

D3C所有の計算機資源の有償・無償の提供サービス
 ~シミュレーション規模に合わせて1台~数百台規模を利用可能~

①



②

- 講習会、セミナー、チューニング支援
- 技術・利用相談

③

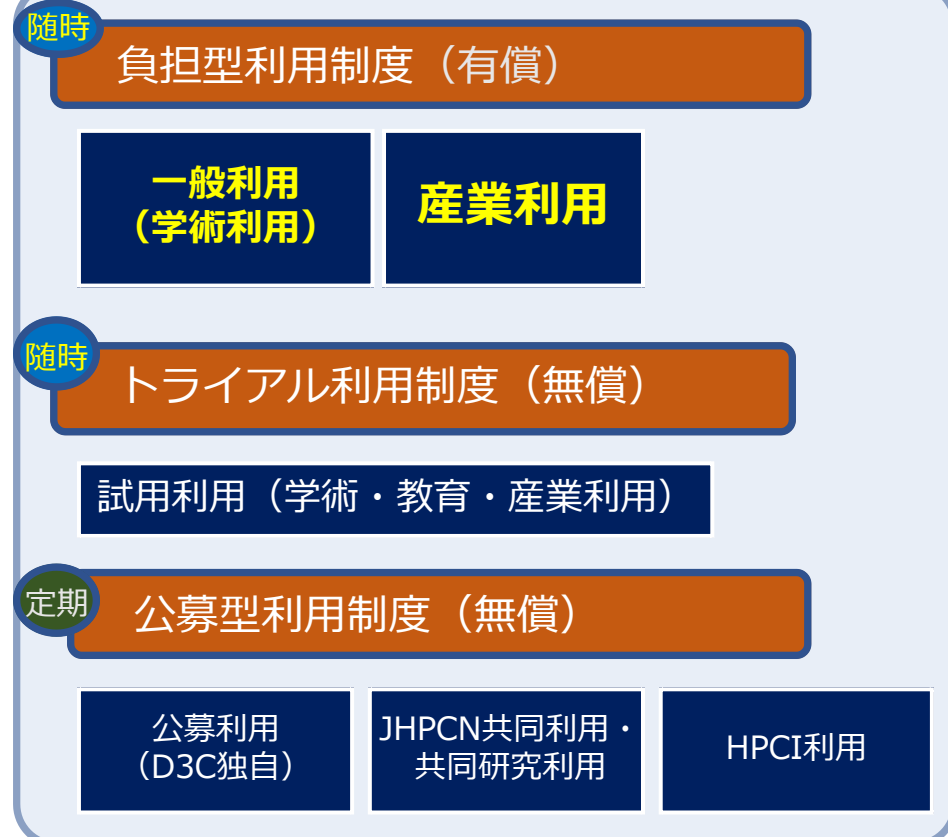
■ 計算科学による課題解決支援

共同・受託研究、技術相談による課題解決を支援

- シミュレーションモデルの適用研究・評価・構築支援
 - 数学的モデルの適用・評価
 - 数値解析手法、データ処理方法の適用・評価
 - モデルの定量的評価など
- 情報通信・マルチメディア・AI技術適用・評価

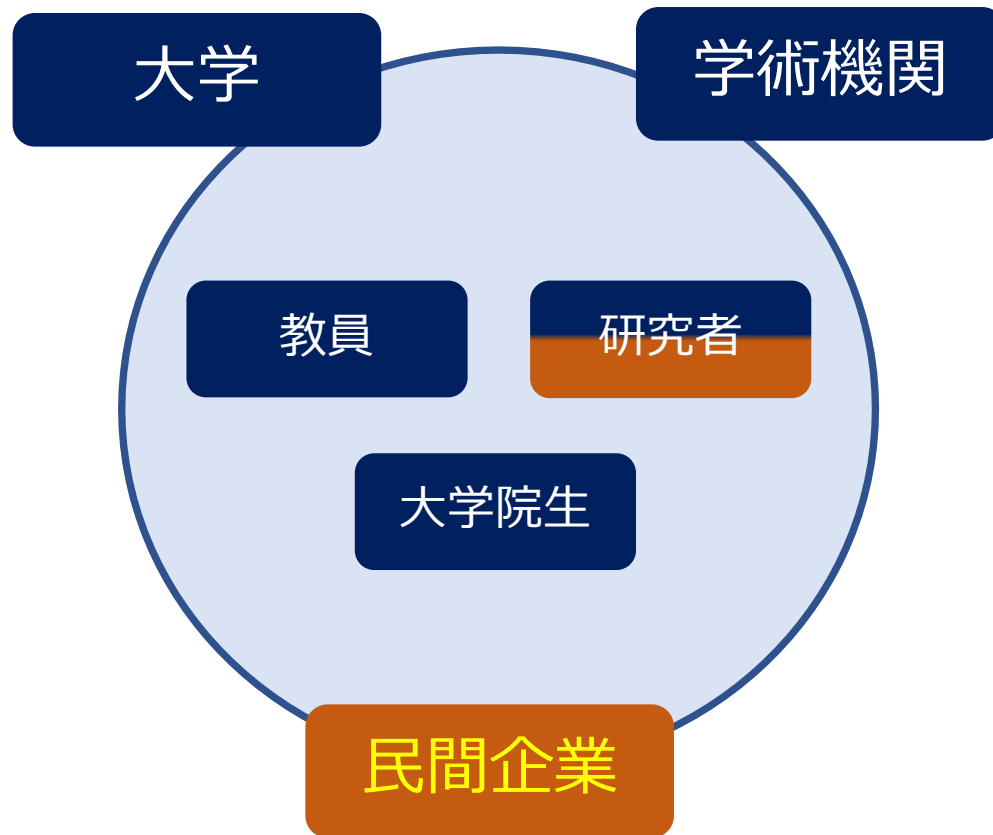


設備利用制度



利用申請

対象者と利用可能な制度



利用制度	学術研究者	産学連携	企業単独
公募型利用制度（無償）			
HPCI利用	◎	◎	▲
JHPCN共同利用・共同研究利用	◎	◎	×
D3C公募利用	◎	◎	×
利用者負担型利用制度（有償）			
一般利用（学術利用）	◎	◎	×
産業利用	×	×	◎

- ・産学連携：学術研究者と企業研究者が共同研究、委託研究を取り組むケース。
- ・▲：HPCIには産業利用者が公募申請も可能。
- ・産業利用には、**成果公開（申請時に一定期間公開しないことも選択可能）と非公開を選択可能です。**

HPCI & JHPCN

■ HPCI :

革新的ハイパフォーマンス・コンピューティング・インフラ

- 国内の大学や研究機関の計算機システムやストレージを高速ネットワークで結んだ共用計算環境基盤（「富岳」も含まれる）
- HPCI共用計算資源（[HPCI計算資源ハンドブック](#)）
- 一般・若手課題と産業利用課題（[HPCI産業利用のご案内](#)）



■ JHPCN : 学際大規模情報基盤共同利用・共同研究拠点

- 8つの大学計算機センターを拠点とするネットワーク（mdxを含めると11拠点）
- JHPCN共同利用・共同研究公募
- JHPCN萌芽型共同研究： D3C若手・女性研究者支援萌芽枠から選定



利用申請の流れ

一般利用制度

- ① **試用制度で利用 (Webフォーム)**
 ↳ 1～2営業日でアカウント発行、利用開始
 期間は3ヶ月
- ② **一般利用申請 (Webフォーム)**
 ↳ 課題審査、誓約書の提出は不要
- ③ **利用開始**
 ↳ アカウント発行、翌月に負担金請求
- ④ **利用報告の提出 (年度末)**

2日
程度

産業利用制度

- ① **試用制度で利用 (Webフォーム)**
 ↳ 1～2営業日でアカウント発行、利用開始
 期間は3ヶ月
- ② **産業利用申請 (課題申請書)**
- ③ **課題審査**
- ④ **誓約書の提出・秘密保持契約の締結**
- ⑤ **利用開始**
 ↳ アカウント発行、翌月に負担金請求
- ⑥ **利用報告の提出 (年度末)**

2WK
程度

備考：試用制度では、有償利用と同じ計算環境とアプリケーションをご利用いただけます。

利用申請の方法

■ 「一般利用」と「産業利用」制度で申請方法が異なります

一般利用（学術利用）, 審査なし

- D3センターのWebから
Webフォームで申請



- 登録用ワンタイムURLがメールで送信されます。
- Webから登録。送信。

産業利用 , 審査あり

- D3センターのWebから
課題申請書をダウンロード
- 必要事項を記入して**先ずは事務局へメール送付**

大阪大学・D3センター
大規模計算機システム・課題申請書

年〇〇月〇〇日

※本様式は、本センター・大規模計算機システム担当に書面で提出するとともに電子メールでも system@cmc.osaka-u.ac.jp までお送りください。

組織名称			
申請代表者氏名		申請代表者役職	
電話連絡先		E-mail アドレス	
住所	〒		
申込課題名			

使用する 計算機資源	SQUID	OCTOPUS
	<input type="checkbox"/> 共有 (〇〇〇万円コース) ※	<input type="checkbox"/> 共有 (〇〇〇万円コース) ※
	<input type="checkbox"/> 占有 (〇〇〇ノード〇1年または〇ヶ月)	<input type="checkbox"/> 占有 (〇〇〇ノード〇1年または〇ヶ月)
	<input type="checkbox"/> HDD (〇〇〇TB) ・ <input type="checkbox"/> SSD (〇〇〇TB)	<input type="checkbox"/> ストレージ (〇〇〇TB)

※ 複数のコースを組み合わせる場合は行を追加してください。

産業利用の応募資格

- 平和利用であること
- 研究利用であること

- **企業内のオペレーション実行やプロダクション実行のみの利用はできません。**
新たなオペレーションやプロダクト開発のためにシミュレーションを研究開発する場合は対象になることがあります。

備考：不明な場合は申請前に個別相談をお願いします。

産業利用応募資格

1. 大阪大学サイバーメディアセンターが定める利用規程に従うこと
2. 日本国内で利用がなされること
3. 採択課題の目的にのみ利用すること
4. 平和利用のみに限ること
5. 人権および利益保護への配慮を行うこと
6. 文部科学省「生命倫理・安全に対する取組」に適合すること
7. 経済産業省「安全保障貿易管理」に適合すること
8. 利用期間終了後、課題報告書が速やかに提出できること

課題申請（産業利用申請書）

①申請代表者、所要計算資源等

大阪大学 D3センター
大規模計算機システム 課題申請書

年〇〇月〇〇日

※本様式は、本センター大規模計算機システム担当に書面で提出するとともに電子メールでも system@cmc.osaka-u.ac.jp までお送りください。

組織名称			
申請代表者氏名	申請代表者役職		
電話連絡先	E-mail アドレス		
住所			
申込課題名			

**代表者情報
(負担金請求先情報)**

使用する計算機資源	SQUID <input type="checkbox"/> 共有(〇〇〇万円コース)※	OCTOPUS <input type="checkbox"/> 私有(〇〇〇万円コース)※
	<input type="checkbox"/> 占有(〇〇万円コース)	または〇ヶ月
	<input type="checkbox"/> HDD(〇〇万円コース)	

※ 複数のコースを組み合わ

成果公開の可否	<input type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開
---------	-------------------------------------------------------------

公開・非公開

応募資格記入欄	<p>応募資格も申請の条件として記入してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/>大阪大学D3センターが定める利用規程に従うこと <input type="checkbox"/>日本国内で利用がなされること <input type="checkbox"/>採択課題の目的にのみ利用すること <input type="checkbox"/>平和利用 <input type="checkbox"/>人権お <input type="checkbox"/>文部科 <input type="checkbox"/>経済産業省「安全標準具の目標」に照らすこと <input type="checkbox"/>利用期間終了後、課題報告書が速やかに提出できること <p>※成果公開型利用の場合</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/>課題報告書の外部公開が可能なこと
---------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

応募資格確認

②申請の背景と実施内容の概要

(産業利用)

これまでの大規模高性能計算実施の実績

マシン名	
ノード数(コア数)	
利用分野名 (例 ○○○○○○:□□□□法による△△△計算)	

申請理由

申請の背景
※申込者の自社または関連会社内

実施内容の概要
※利用内容の背景、目的・意義、研究(計算)計画、期待される成果を、それぞれの位置づけがわかるように記述してください。申請書に記載された内容によってはヒアリングを実施します。スペースが許す範囲でできるだけ詳細に記述してください。図表を用いても構いません。

③利用者リスト

(産業利用)

利用者リスト
※申請代表者も含め、実際に大規模計算機システムの利用を希望する者について記入すること

1	(フリガナ)氏名	職名	所属	研究分野
	電話番号	メールアドレス		
2	(フリガナ)氏名		所属	
	電話番号			
3	(フリガナ)氏名	職名	所属	研究分野
	電話番号	メールアドレス		
	(フリガナ)氏名	職名	所属	

利用アカウント情報

④外国人リスト

(産業利用)

外国人リスト
※前述の「利用者リスト」において外国籍の利用者が含まれる場合にのみ、以下の項目を記述してください。

外国人の利用申込にあたっては、輸出貿易関連法に違反しないことを確認しました。(はい・いいえ)

1	氏名	勤続年数	国籍	現居住地
2	氏名			現居住地
3	氏名			現居住地
4	氏名	勤続年数	国籍	現居住地
5	氏名	勤続年数	国籍	現居住地

利用アカウント情報

備考：申請書に記述された内容は、審査および利用手続きにのみに使用され、その他の目的には利用しません。

クレジットのお願い

■ クレジットのお願い <https://www.hpc.cmc.osaka-u.ac.jp/acknowledgments/>

論文やプレスリリース等で発表を行う際は本制度を利用した旨を明記してください

<和文例-1>

本研究成果（の一部）は、大阪大学D3センターの{SQUID and/or OCTOPUS and/or ONION}を利用して得られたものです。

<英文例-1>

This work was (partly) achieved through the use of {SQUID and/or OCTOPUS and/or ONION} at D3 Center, The University of Osaka.

<和文例-2>

本研究成果（の一部）は、大阪大学D3センターの大規模計算機システムを利用して得られたものです。

<英文例-2>

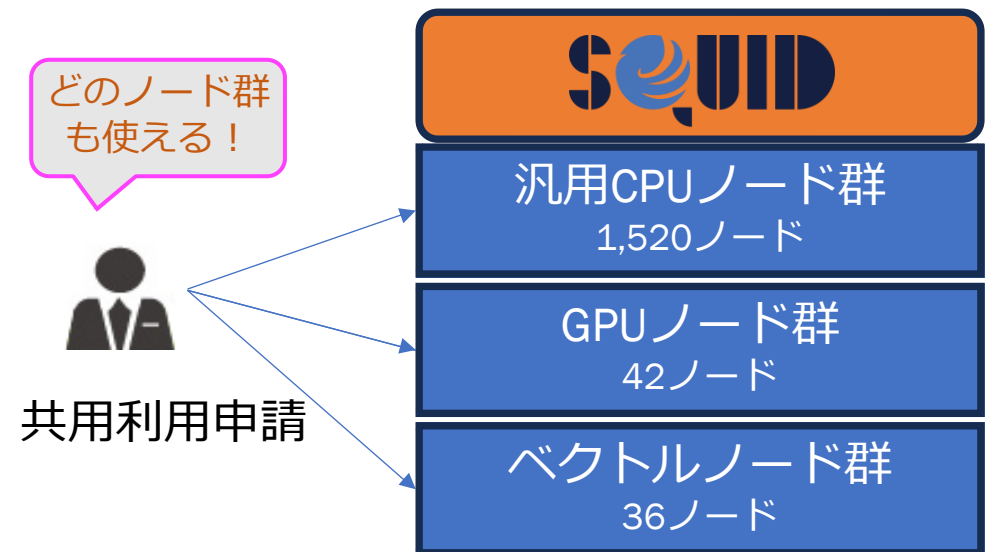
This work was (partly) achieved through the use of large-scale computer systems at D3 Center, The University of Osaka.

利用料金（利用負担金）

共有利用は、前払いポイント制従量課金制度です

- 申請（占有・共有利用を選択）
 - 占有：ノード群毎に基本負担額を設定
 - 共有：利用ポイント制度

- SQUIDポイント・OCTOPUSポイント
 - ① 負担金額に応じたポイントを付与
 - ② 計算に使用したノード種別毎にポイントを消費（詳細は後述）



共有利用の負担金と利用資源量

負担金に応じてポイントを付与、計算（ジョブ）毎にポイント消費

負担金コース

負担金コース (基本負担額)	SQUID ポイント
10万円	1,000ポイント
50万円	5,250ポイント
100万円	11,000ポイント
300万円	34,500ポイント
500万円	60,000ポイント

消費税(10%)別

一般利用（学術利用）

産業利用（公開）

産業利用（非公開）


負担金コースに含まれるもの
負担金コースに応じた計算資源の
利用ポイントと基本ディスク容量



*HOME領域は、ユーザ毎に10GB



ディスク容量
追加オプション



HDD: 2,000円 / TB
(MAX:500TB)



SSD: 5,000円 / TB
(MAX:10TB)

金額
× 5

共有利用の負担金と利用資源量

負担金に応じてポイントを付与、計算（ジョブ）毎にポイント消費

負担金コース

負担金コース (基本負担額)	OCTOPUS ポイント
10万円	1,000ポイント
50万円	5,250ポイント
100万円	11,000ポイント
300万円	34,500ポイント
500万円	60,000ポイント

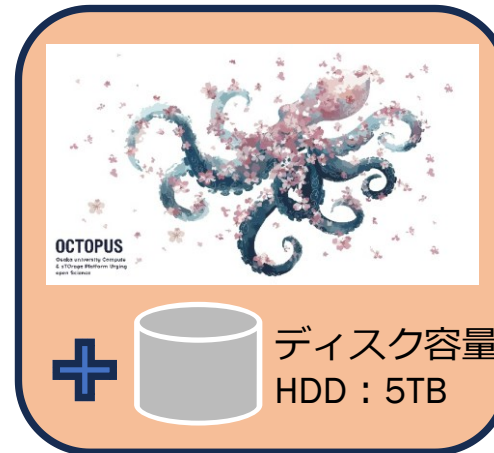
消費税(10%)別

一般利用（学術利用）

産業利用（公開）

産業利用（非公開）

負担金コースに含まれるもの
負担金コースに応じた計算資源の
利用ポイントと基本ディスク容量



ディスク容量
追加オプション



HDD: 2,000円 / TB
(MAX:50TB)

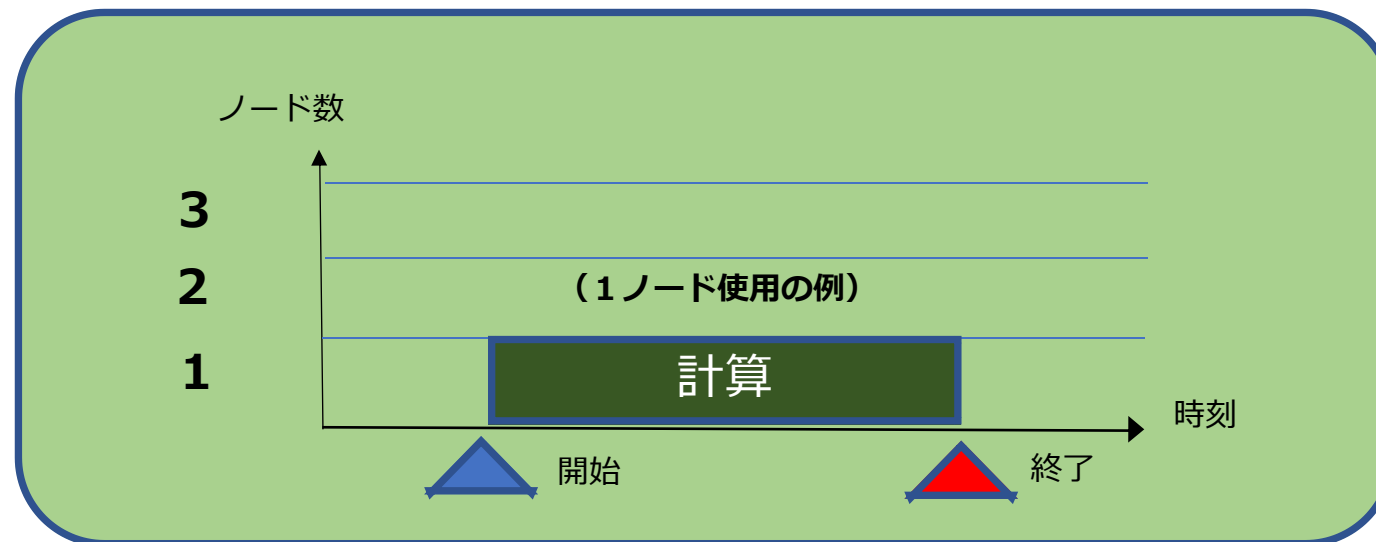
金額
× 5

*HOME領域は、ユーザ毎に100GB

1 計算（ジョブ）の消費ポイント数

1 計算（ジョブ）の消費ポイント = **ノード時間** × 消費ポイント係数

(計算) ノード時間 (H) = 計算に使用したノード数 × 計算時間 ( - )



消費ポイント係数

<https://www.hpc.cmc.osaka-u.ac.jp/service/cost/>

1 計算 (ジョブ) の消費ポイント = ノード時間 × 消費ポイント係数

消費ポイント係数 = 消費係数 × 季節係数 × 燃料係数

消費係数 (SQUID)

ノード群	高優先度	通常優先度	シェア
汎用CPU ノード群	0.3746	0.2998	0.2248
GPU ノード群	2.2934	1.8348	1.3762
ベクトル ノード群	1.4140	1.1312	0.8484

各ノード群の消費電力をもとに設定

季節係数

ノード群	4-6 月	7-9 月	10-12 月	1-3 月
汎用CPU ノード群	1.0	1.0	1.0	1.0
GPU ノード群	1.0	1.0	1.0	1.0
ベクトルノ ード群	1.0	1.0	1.0	1.0

前年度の利用率をもとに0を超える
1以下の値を設定

燃料係数

ノード群	
汎用CPU ノード群	0.85 (2024年4月時点)
GPU ノード群	
ベクトル ノード群	

直近の電気料金を鑑みて設定

補足：

使用できる計算資源量の目安

■ 10万円コース（1,000ポイント）で使える計算ノード時間（目安）

（詳細は、D3センターのHPで確認ください）

SQUID資源	1,000 ポイント
汎用CPUノード群	3,924 ノード時間
GPUノード群	641 ノード時間
ベクトルノード群	1,040 ノード時間

約 5.4 ヶ月分に相当

約 0.9 ヶ月分に相当

約 1.4 ヶ月分に相当

* 1: 消費係数は「通常優先度」で試算。

* 2: 季節係数は「1」で試算。

* ノードの消費電力ベースに設定

備考：

- 1年間（365日）x 1 ノードで計算し続けた場合のノード時間：**8,760H**（365 × 24H × 1ノード）
- 消費ポイントの設定は、計算で使用する「対象ノード群」の消費電力に紐付いて設定されています。

利用者支援

- 利用・技術相談
- 講習会（定期）
- セミナー（非定期）
- チューニング支援

サポートページ

<https://www.hpc.cmc.osaka-u.ac.jp/support/>

2025年度 講習会・セミナー/ワークショップ・チューニング支援

https://www.hpc.cmc.osaka-u.ac.jp/lecture_event/end_lecture_2025/

https://www.hpc.cmc.osaka-u.ac.jp/lecture_event/end_workshop_2025/

https://www.hpc.cmc.osaka-u.ac.jp/lecture_event/end_event_2025/

https://www.hpc.cmc.osaka-u.ac.jp/lecture_event/tuning/

■ その他

- 新規・初回利用者向け講習会（要予約）
 - 利用の仕方（本日、この後一部をご説明）、ジョブの作り方、実行の仕方など
- ワークショップ
 - 利用者交流会（2回・年）を不定期に実施

利用・技術相談

■ メール/電話相談/問い合わせフォーム

https://www.hpc.cmc.osaka-u.ac.jp/support/contact/auto_form/

- 随時受付
- 質問例
 - 申請方法がわからない
 - ログインできない
 - コンパイル/実行エラーの原因がわからない
 - 実行してもすごく遅い
 - 使いたいソフトがある…等

■ 対面利用相談

<https://www.hpc.cmc.osaka-u.ac.jp/ftf-consult/>

- 月4回程度、事前予約制
- オンライン形式で実施
- D3センターの教職員や
スパコン開発元のエンジニアに直接相談できる

お問い合わせフォーム Cybermedia Center, Osaka University > 利用支援 > 相談・問い合わせ > お問い合わせフォーム

質問内容 (必須)
以下よりお問い合わせのジャンルをご選択ください。

お名前 (必須)

メールアドレス (必須)

所属

住所

お問い合わせ本文 (必須)

セキュリティ保護のため画像内の文字を入力してください (必須)

M N H H

サービス日

以下の日程で対面利用相談を受け付けております。1回の相談時間の目安は60分あるいは90分程度となります。

5月						
日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

日付	10:00 - 12:00, 13:30 - 15:00, 15:00 - 17:00 で受付
日付	10:00 - 12:00, 15:00 - 17:00 で受付
日付	10:00 - 12:00 で受付
日付	13:30 - 15:00, 15:00 - 17:00 で受付

講習会(定期開催)

https://www.hpc.cmc.osaka-u.ac.jp/lecture_event/lecture/

各講習会とも年2回開催

2026年度計画 (一部)



初めてのスパコン -ログインから実行まで-

開催日 | 6月1日 (月) 13:30 - 14:30

本講習会ではD3センターのスーパーコンピュータの利用方法について学びます。大規模計算機システムを1週間自由に使用できる「無料お試しアカウント」を配布しますので、スーパーコンピュータを使った研究を検討している方に、大変おすすめていただける内容となっています。



スパコンに通じる並列プログラミングの基礎

開催日 | 6月3日 (水) 13:30 - 15:00

本講習会では、並列プログラミングについて、まったくの初心者向けにその手法や考え方の基礎について紹介します。また、大規模な並列計算が可能な大型計算機やコンピュータシステムを扱うのに必要となる Unix についても、まったくの初心者でもおおよそ困らないように簡単な概観を提示します。



計算機を初めて利用する方向けの講習会



プログラムを高速化したい方向けの講習会



アプリケーション利用に関する講習会



OpenMP入門

開催日 | 6月9日 (月) 13:30 - 14:30

本講習会ではOpenMPによる一般的な並列プログラミングの基礎とその利用方法を Fortran を用いた実習により説明します。スーパーコンピュータを1週間自由に使える「無料お試しアカウント」付きます。



汎用CPUノード 高速化技法の基礎 (Intelコンパイラ)

開催日 | 7月3日(木) 13:30 - 17:00

本講習会では、SQUIDやOCTOPUSに導入されているIntelコンパイラの概要、及びIntelコンパイラで利用可能な各種オプションを紹介し、これらを活用したチューニング手法について学びます。



GPUプログラミング入門 (OpenACC)

開催日 | 7月18日(金) 14:00 - 17:30

本講習会では、GPUおよびGPUを用いた計算の特徴や概要を説明し、OpenACCによるGPUプログラミング手法の基礎を学びます。



スーパーコンピュータ バッチシステム入門 / 応用

開催日 | 7月23日(水) 14:00 - 17:00

本講習会ではスーパーコンピュータでの計算に必要な、ジョブスクリプトの投入による計算機利用(バッチ利用)の概要を説明し、サイバーメディアセンターのシステムを利用するためのジョブの投入方法を学びます。講習会の後半では応用テクニックやコンテナ利用など、高度なジョブの投入方法を紹介します。

産学連携によるセミナー(不定期開催)

2025年度 開催 (一部)



利用者交流会：Pythonチュートリアル (初級編)

開催日 | 6月6日 (金) 13:00 - 15:00
 6月13日 (金) 13:00 - 15:00

本プログラムは、本センターの利用者を中心に、幅広い学術・産業界のユーザ交流による計算科学分野でのサード・プレイスの提供を行う利用者交流会の支援プログラムとして開催するものです。チュートリアルではPythonの知識だけでなく、IT、Web・インターネットなどの関連知識についても説明します。



利用者交流会：Pythonチュートリアル (中級編)

開催日 | 7月2日 (水) 13:00 - 15:00
 7月9日 (水) 13:00 - 15:00
 7月16日 (水) 13:00 - 15:00

本プログラムは、本センターの利用者を中心に、幅広い学術・産業界のユーザ交流による計算科学分野でのサード・プレイスの提供を行う利用者交流会の支援プログラムとして開催するものです。チュートリアルではPythonの知識だけでなく、IT、Web・インターネットなどの関連知識についても説明します。



利用者交流会：Pythonチュートリアル (Deep Learning編)

開催日 | 11月5日 (水) 10:00 - 12:00
 11月12日 (水) 10:00 - 12:00

本プログラムは、本センターの利用者を中心に、幅広い学術・産業界のユーザ交流による計算科学分野でのサード・プレイスの提供を行う利用者交流会の支援プログラムとして開催するものです。チュートリアルではPythonの知識だけでなく、IT、Web・インターネットなどの関連知識についても説明します。



Dockerセミナー

開催日 | 12月10日 (水) 13:30 - 15:00

本セミナーでは、近年広く利用されている Docker について、Docker の基本的な操作方法から公開されているコンテナイメージの利用方法について学びます。また、Docker イメージを SQUID で利用する方法として、SQUID でのコンテナ利用方法として提供されている Singularity による Docker イメージの利用方法について簡単に紹介します。

2023年度 開催 (一部)



Vector Annealing (VA) セミナー

開催日 | 9月4日 (月) 15:00 - 17:00
 9月5日 (火) 15:00 - 17:00

本センターでは、本年度、SX-Aurora TSUBASA上で疑似量子アニーリングを利用できる「NEC Vector Annealingサービス」を試験的に導入しています。本セミナーでは、SQUIDでも導入されているNEC製SX-Aurora TSUBASA上で疑似量子アニーリングプラットフォーム「NEC Vector Annealingサービス」を利用する方法について取り扱います。



Dockerセミナー

開催日 | 9月6日 (水) 13:30 - 14:30

本セミナーでは、近年広く利用されている Docker について、Docker の基本的な操作方法から公開されているコンテナイメージの利用方法について学びます。また、Docker イメージを SQUID で利用する方法として、SQUID でのコンテナ利用方法として提供されている Singularity による Docker イメージの利用方法について簡単に紹介します。



今更聞けない数値計算アルゴリズム：常微分方程式編

開催日 | 9月11日 (月) 13:30 - 15:30

研究や開発の中で数値計算が必要になったとき、アルゴリズムはどのような観点で選択するのがよいのでしょうか？精度、安定性、計算効率など、様々な観点があると思います。しかし、一見基礎的なことに関して疑問を感じることもあっても、基礎だと思いがゆえに、なかなか人にたずねられないといったこともあるのではないかと思います。

本セミナーでは、常微分方程式の数値計算アルゴリズムについて、まずは、教科書的な基礎事項を改めて概観します。続いて、良いアイデア同士を単純に組み合わせることの危険性なども例示しながら、最先端のアルゴリズムも含め常微分方程式に対する数値計算アルゴリズムを分類・整理して紹介します。スーパーコンピュータを1週間自由に使える「無料お試しアカウント」も配布いたします。

チューニング支援

- ユーザのプログラムをセンターで預かり、スパコンへの最適化・並列化を実施
 - 6月～8月公募予定
 - プログラムの修正希望（あり・なし）を伺いながらチューニング

2025年度 性能チューニングプログラム



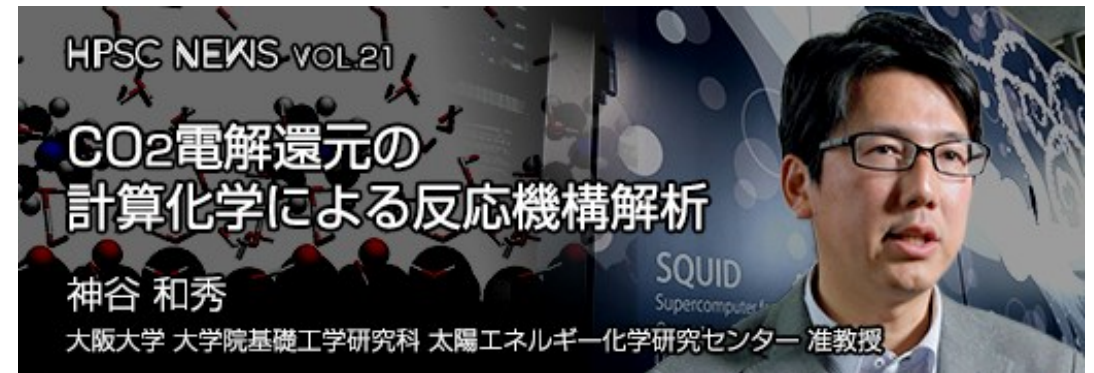
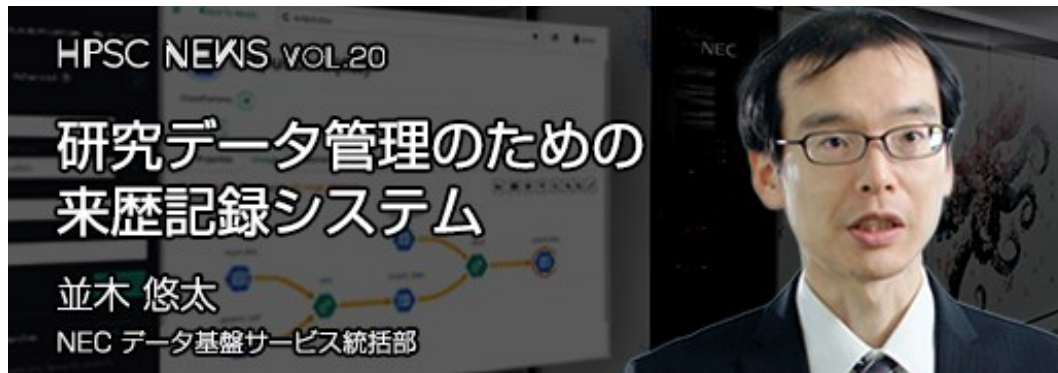
本プログラムでは、お手持ちのプログラム（非商用）を本センターで預かり、大規模計算機に対する最適化および並列化を行います。最適化、並列化することにより、本センター大規模計算機システムを最大限利活用することが見込まれるプログラムを募集いたします。なお、プログラムによっては性能評価およびコンパイルオプションによる最適化のみの対応となる場合があります。予めご了承のほどよろしくお願いいたします。

ご興味・ご関心のあります方は是非ご応募ください。

研究成果のアウトリーチ活動

- 大規模計算システム 研究成果一覧
<https://www.hpc.cmc.osaka-u.ac.jp/researchlist/>
- HPSC (High Performance Scientific Computing) News
<https://www.hpc.cmc.osaka-u.ac.jp/hpsc-news/>

ご研究内容を
映像で紹介



Q&A

■ 基本事項

- 負担金請求は利用開始の翌月に代表者へ行われます。

■ 申請の単位

同一研究目的（課題）の範囲であれば申請を一本化ください。

● 一般利用：

- 研究者個人、研究室、共同研究単位（複数機関、複数企業）
（研究所組織単位や大学学科などの組織単位の利用を検討の場合は事前相談ください。）

● 産業利用：同一社内、複数社をまとめても可

- 学術機関と共同研究目的での利用は、「一般利用」制度で申請ください。
- 外国人利用者を予定している場合は事前相談ください。

■ 産業利用

- 応募資格を遵守ください。
- 利用目的は研究・開発であること。
平和利用であること。研究利用であることです。
オペレーション・プロダクトランのみは不可です。
- 成果公開と非公開を決められます。
知財の公開ではありません。
利用終了時に作成・提出いただく「利用報告書」、「研究成果報告書」をD3センターのホームページおよび、
刊行物等への掲載が可能か（公開可能か・非公開）を決めることです。
- 知的財産の取り扱い：原則として企業に帰着します。

その他については。FAQを参照ください (<https://www.hpc.cmc.osaka-u.ac.jp/faq/>)

まとめ

- まず最初に、下記までご連絡ください。「利用事前相談」
- スムーズな利用開始をサポートいたします。

大規模計算機システムに関するご質問は
大阪大学 情報推進部 情報基盤課
研究系システム班
system@cmc.osaka-u.ac.jp

または

お問い合わせフォーム
https://www.hpc.cmc.osaka-u.ac.jp/support/contact/auto_form/

にてお気軽にご連絡ください！

ご静聴、ありがとうございました。